

## 研究機関

富山大学では、地域の主要産業であるアルミニウムに対して、その課題である生産時の二酸化炭素排出量低減のために、高度なリサイクル技術開発に取り組んでいる。この度、経産省の補助金を受けて高岡市に国内唯一の「アルミリサイクル研究拠点」を設けることとなった。今後、この拠点を中心にアルミをはじめとする様々な資源を無駄なく利用する循環社会を高岡に構築することを目指して活動する。

<p><b>【目標】</b> 地域におけるアルミ新地金利用量を削減する。</p>	 
<p><b>【主な取り組み】</b> 二酸化炭素排出量が高いアルミ新地金の利用を抑え、代わりにアルミスクラップを使うことで二酸化炭素排出量を抑制する技術を開発する。</p>	
<p><b>【目標】</b> 多くの市民に資源循環について理解してもらい協力してもらう。</p>	
<p><b>【主な取り組み】</b> 市民を集めたシンポジウムや、学校への訪問講座などを通じて、資源循環の大切さを認識して頂く</p>	
<p><b>【目標】</b> 資源循環を担う人材を10名以上育成する。</p>	 
<p><b>【主な取り組み】</b> アルミを題材に、資源循環を担う人材を育成する講座などを開催する。</p>	

## 高岡を持続可能なまちにするために

- ・高岡市の主要産業であるアルミ産業界と共に、気候変動の要件である二酸化炭素排出量削減（ゴール13）につながるアルミスクラップの高度なリサイクル技術を開発する。
- ・リサイクルアルミを使った製品が高付加価値になるよう（ゴール8）に、デザインや社会システムなどを工夫する。あるいは工夫できる人材を育成する。
- ・産学官で地域の持続的発展に貢献する産業と技術革新の基盤を構築する（ゴール9）。